

# ペタンク

## 1. 特色

ペタンクは道具を使って行うスポーツの中で比較的簡単で、しかもゲーム性を失うことなく、どこでも、誰でもできるスポーツです。ルールは簡単ですが、ゲームの読みには経験を必要とします。実力的に開きがあっても、作戦ミスやゲームの流れで思わぬ不覚を取ることがあります。また地面のコンディションやゲームの展開などにより、投球方法を変える必要があり、技術的な奥行きもあります。

発祥はフランスで、ヨーロッパでは毎年世界大会が行われており、フランス文化圏では強い人気があります。

## 2. 用具

《ボール》 金属製（鋼鉄やステンレス）直径7.05～8cm、重さ650～800g

《ビュット》 標的球のことをいう。木製、直径25mm～35mm、重さは規定なし

## 3. コート

(1) 幅4m×長さ15m以上あればよい。

(2) 投球サークルは、直径35cm～50cm

(3) ボールがバウンドしにくい地面が適する。

(砂利地や砂浜でも、ヌグラウンドでもでき、各々趣があって面白い)

## 4. 競技方法

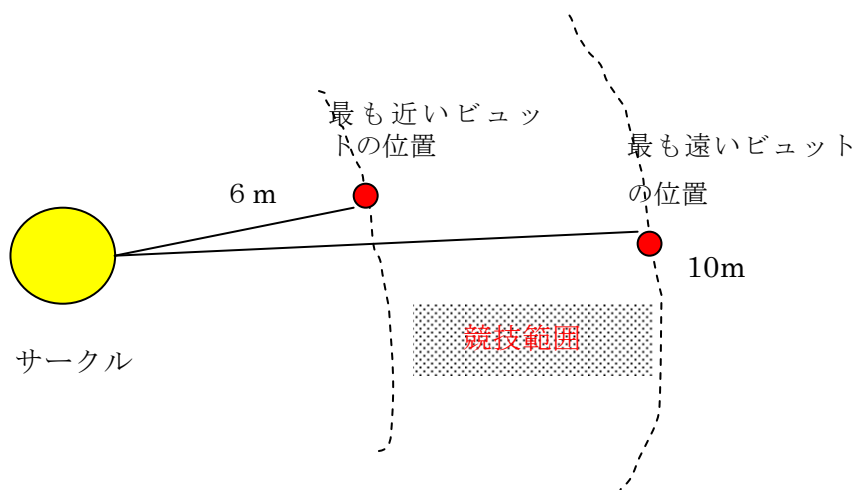
(1) 3人对3人（トリプルス）で行い、各プレイヤーの持ちボールは2個とする。2人对2人（ダブルス）、1人对1人（シングルス）で行うこともできる。

(2) ゲームの進め方

競技はどちらかのチームが、13点を先取するかで勝敗を競います。

① 全員コートに集合し、ジャンケン等でビュットを投げる権利を決める。

② 先攻チームの1人がスタート地点を定めて投球サークルを描き、この中からビュットを投げる。ビュットはサークルから6m～10mの間に止め、競技を開始する。（下図）

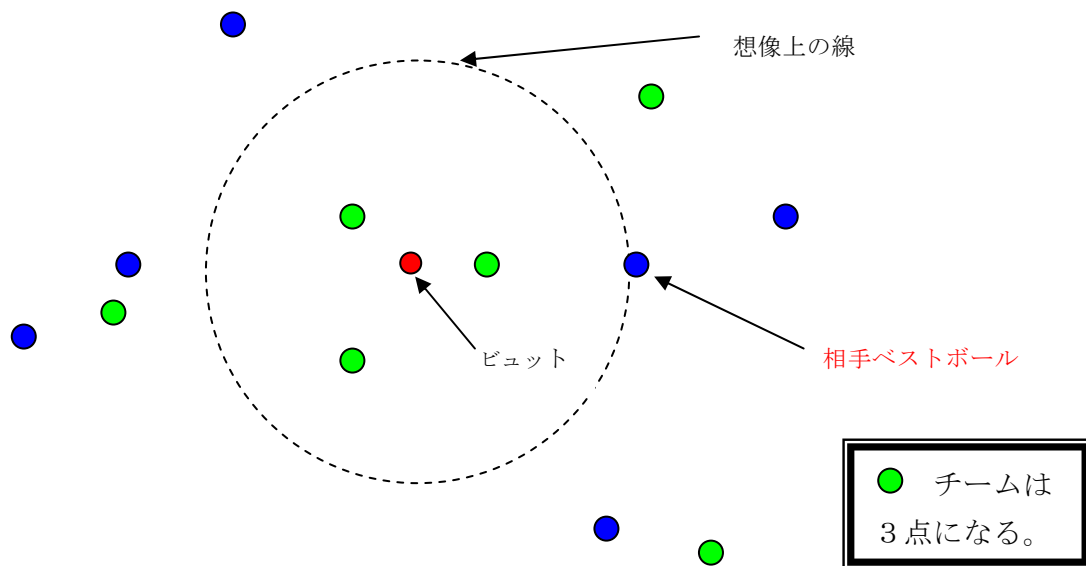


- ③ 先攻チームの第一投者が、ピユットの近くに寄るようにボールを投げる。
- ④ 次に、相手チームが先攻チームより一層近く寄るまで何回でも続けて投球する。
- ⑤ 次に、ピユットよりボールが遠くなったチームが投球する。これを繰り返し、全投球した時点で最もピユットに近いボールのチームが勝ちとなる。
- ⑥ 一方のチームが6球投げ終わっても、勝ったチームに残球があれば、更に得点を稼ぐために全球投げる。これで第1セット終了。
- ⑦ 投球により、ボールを動かしたり、ピユットを動かすことにより得点することもできる。
- ⑧ このセットで勝ったチームが、次の第2セットで投球サークルを描き、ピユットを転がし、ゲームを進めていく。セットは何回も繰り返して13点先取したチームが勝ちとなる。(投球サークルはセットごとに描く)
- ⑨ ポイントの測定は、最後にボールを投げたプレイヤー、または同チームの他のプレイヤーが行う。

### (3) 得点の数え方

得点は、両チームのピユットから最も近いボール（ベストボール）の確認から始める。相手チームのボールがいくつ近いか、その数が得点になる。得点はいつも片方にしかなく、一方は、ゼロになる。

《得点計算》(例)



- (4) ボールを投げるときは、サークルの線を踏んだり、ボールが地上に落ちる前に足を上げたりしてはいけない。
- (5) ボールを投げる順番は自由である。(連続して投げてても良い)